

雨の中スタッフが、グリーンロープと杭の整備をしています。この日はこのあと晴れてきました。高山帯の天気は変わりやすいので注意が必要です。さらに、遭難防止のため、天候の変化に備えた装備も必要です。



ミヤマアキノキリンソウ（深山秋の麒麟草）です。北海道から中部地方の亜高山帯から高山帯に分布します。



ヨツバシオガマ（四葉塩釜）です。北海道から中部地方の高山帯に分布します。シダのような葉が4枚同じところから開きます。写真は三つ葉ですが、種類はヨツバシオガマです。



風に揺れるチングルマ（珍車）です。花が終わり種を付けています。北海道から中部地方に分布しています。



畳平駐車場の朝9時頃です。お盆二日目ですが、まだまだこの時間は、バスも人もほとんど見られません。この日は子連れ家族の登山者が多く、ライチョウやイワギキョウ、コマクサが大人気でした。



剣ヶ峰から御嶽山を望んだ一枚です。標高はほぼ同じで、剣ヶ峰は 3026m、御嶽山は 3067m です。どちらも活火山で、乗鞍岳の最新噴火は、約 2000 年前です。



お盆初日で登山者が多い一日でした。注意指導等も多く、立入り禁止区域への侵入は、今シーズン最高の41人でした。写真の花は、トウヤクリンドウ（当薬竜胆）です。



コウメバチソウ（小梅鉢草）です。中部以北の高山帯に分布します。梅鉢は、家紋一つで、菅原道真や前田利家の家紋も梅鉢だそうです。



グリーンロープ外の立入り禁止区域にいるライチョウです。このように人間に対しては無警戒です。



岩に立ちこちらに背を向けているライチョウです。高い位置から何かを警戒しているのでしょうか。



畳平駐車場のすぐ近くに位置するお花畑です。歩道が一周しているのがわかります。朝9時頃なので歩いている人はわずかのようです。



8 / 8

※注意指導等（立入り禁止区域への侵入）：15人

グリーンロープの杭を交換しているところです。車道周辺はパトロール車により資材を運搬して作業を行います。



オトギリソウ（弟切草）です。花言葉は「怨み」。平安時代の恐ろしい伝説では、裏切り者の弟を兄が斬り殺し、その時飛び散った血が付いたまま今も咲いているとのこと。



8 / 7

※注意指導等（立入り禁止区域への侵入）：15人

畳平駐車場の朝、快晴。この日は一日中晴れだったので、登山者だけでなく自転車も多い一日でした。



大黒岳周辺のコマクサです。アルプスの少女ハイジの一場面のような素敵なショットの一枚ですが、もう少し晴れてたら良かったと思います。

